
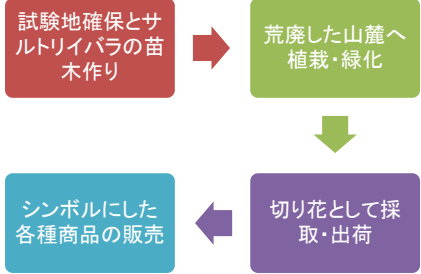


タイトル	サルトリイバラによる島の山林再生	
概要	火山により荒廃した島の山林斜面を在来種であるサルトリイバラで緑化するとともに、実の付いたものを切り花として採取し出荷する。	
管理方法・技術的視点	<p>枯損木を伐採し取り払った後、栽培したサルトリイバラを植樹。十分に生育したものを慎重に選別し収穫し「切り花」として出荷。収穫した果実は地元女性たちの手作業により選別・切り分けられ商品化されている。</p> <p>将来的には含有されている薬効成分の活用についても期待されている。またサルトリイバラをシンボルにしたTシャツ等の土産グッズも販売し地域活性化につなげている。</p>	 <p>火山の荒廃山林に生育するサルトリイバラ</p>
備考	<p>2000年に発生した三宅島噴火の復興事業に建築業者として島外からかかわる中で、地元の土木・建築関連業者や顧客の知己を得て、島に営業所を開設。その後、荒廃した山麓の再生事業に参画していく中で、伊豆七島の三宅島の緑化、緑の産業の活性化という企業理念を掲げて、伊豆緑産を設立。</p> <p>島の山麓の緑化・再生と出荷・販売を両立させた事業展開を図っている。</p>	 <p>試験地確保とサルトリイバラの苗木作り</p> <p>荒廃した山麓へ植栽・緑化</p> <p>切り花として採取・出荷</p> <p>シンボルにした各種商品の販売</p> <p>今後は薬効成分に着目した製品開発を企図</p> <p>サルトリイバラ事業の展開ステップ(景観再生と地域活性化の両面から復興に貢献)</p>
場所・主体	東京都三宅村(三宅島) 株式会社伊豆緑産	
URL等	http://www.jafta.or.jp/13_sanson_hp/jirei/mori-yama/jirei50-1.html	